# 水木しげる記念館再整備 基本構想・基本計画 基本構想

令和4年5月 境港市

# 目次

1	現状把握・課題整理
	Ⅰ-Ⅰ. 社会背景や境港市上位計画等の関連情報整理
	I - 2. 既存施設の現況 ······ 3
	Ⅰ−3.水木しげるロードに関わる方々へのアンケート調査 7
	- 4. 既存施設の課題整理
	I - 5. 主要な展示資料・所蔵品の把握 ····································
2	新施設の基本理念・基本コンセプト
	2-1. 再整備の視点・ターゲット24
	2-2. 基本理念26
	2-3. 基本方針27
	2-4. 基本コンセプト29
3	事業活動
	3-1. 施設における事業活動30
4	管理運営の考え方
	4-1. 基本方針31
参え	考資料 水木しげる記念館再整備基本構想・基本計画検討委員会について 
	資料 I 開催概要
	資料2 委員名簿
	資料3 設置要綱

# 現状把握・課題整理

## Ⅰ-Ⅰ. 社会背景や境港市上位計画等の関連情報整理

#### (1) 近年の社会背景

近年の社会背景として、新型コロナウィルス感染症拡大の影響による人流抑制と観光客の減少が挙げられる。水木しげる記念館においても、2020(令和 2)年には新型コロナウィルス感染症拡大防止のため、54 日間の休館を余儀なくされた。水木しげるロードのリニューアルを行った 2018(平成 30)年には 25 万人だった入館者数は、2021(令和 3)年には 7 万人にまで激減した。

また、感染リスクを軽減するために、地元や近隣への短距離観光を行うマイクロツーリズムや、平日を含む一定期間滞在する滞在型観光などの旅行スタイルも求められるようになるなど、来訪者の価値観の変化や多様化も加速している。

以上のように変化する社会背景を考慮し、時勢に柔軟に対応し、持続的に成長し続ける仕組みづくりが求められる。

#### (2) 第2期境港市総合戦略(令和2年2月)

本市では、令和2年から5年間の目標や施策の基本的方向、具体的な施策をまとめた「第2期境港市総合戦略」を令和2年に策定した。

本計画では、①「3つの港と水産・観光資源を生かしたまちづくり」、②「子育でするなら境港」を標榜した子育で環境づくり」の2つの基本目標と、「県境を越えた広域連携による住みたくなる圏域づくり」の圏域目標を示している。そのうち、基本目標①「3つの港と水産・観光資源を生かしたまちづくり」では、目標として「水木しげるロード年間観光入込客数の年間200万人以上の維持」を示している。観光振興に関する施策の基本的方向として、「観光地の魅力度向上による滞在型観光の推進」、「外国人観光客の誘客促進」が挙げられ、「鬼太郎」や「水木しげる作品」の観光資源のさらなる魅力度向上を図ること等を示している。具体的な施策として、水木しげるロードのライトアップなど夜間の賑わい創出及び滞在時間延長の取組の推進や、水木しげる作品のキャラクターの着ぐるみによるおもてなしの充実などを示している。

水木しげる記念館の再整備にあたっては、上記の施策を踏まえ、市の観光振興に貢献する 施設づくりを目指すことが求められる。

#### (3) 「水木しげる記念館」のあり方に関する最終提言書(令和3年3月)

建物や設備の老朽化に伴う改修等が必要なこと、収蔵庫など貴重な資料を保存するスペースもないことなどから、令和元年より「水木しげる記念館あり方検討委員会」によって、施設のあり方について様々な観点から検討が重ねられた。

その結果、水木しげる記念館の建設場所は、"現在地"が最も妥当であることが提言された。

さらに、現在地での再整備にあたっては、周辺の施設等を活用し、休館せずに営業を継続することを理想とし、代替施設等の確保ができないときは、整備に係る工期の短縮を図るなど、可能な限り休館期間が短くなるように創意工夫を図ることが求められている。

再整備にあたっては、社会情勢の変化や境港市が置かれている財政状況なども念頭に、水木しげるロードなどの既存資源を有効に活用した文化観光拠点、地域づくりの創出に向けて、施設の規模並びに機能強化の検討、クラウドファンディングによる財源調達や民間資金を活用したPFI等による整備手法の検討など、総合的に判断を行うことが求められた。

# (4) 水木しげる記念館を中核としたさかなと鬼太郎のまち境港市拠点計画 (令和3年5月)

「文化観光拠点施設を中核とした地域における文化観光の推進に関する法律」(文化観光推進法)に基づき、「水木しげる記念館を中核としたさかなと鬼太郎のまち境港市拠点計画」が文化庁により認定を受けた。

本計画では、水木しげる記念館の魅力度向上、水木しげるロードの滞在型観光推進、水木作品に描かれた聖地等への周遊促進、インバウンド旅行者に対応した環境整備の4つの取組強化事項が設定された。これら取組強化事項は、地域の文化観光関係者と連携して取り組むことで、誘客や滞在促進、観光消費額の拡大を図り、魅力あふれる観光地域づくりの実現を目指すものである。

#### (5) 水木しげるロード街なみ環境整備事業

水木しげるロードでは、街なみに関する独自のルールを定め、水木しげるロードにふさわ しい街なみの形成に取り組んでいる。

水木しげる記念館の再整備にあたっては、水木しげるロードの街なみ環境整備事業の方針を踏まえ、調和のとれた景観を保つ施設計画を検討することが求められる。

# Ⅰ-2. 既存施設の現況

# (I) 施設概要

水木しげる記念館は、老若男女問わず愛され続けている水木ワールドの集大成として、2003 (平成15) 年に「水木しげるロード」に整備された施設である。館内では、独創的かつ多様な作品の世界、哲学や精神の現れである妖怪の世界を貴重な資料や映像等で紹介している。

所在地	鳥取県境港市本町5番地
開館年月日	2003(平成15)年3月8日
開館時間	9:30~17:00
休館日	年中無休
入館料	一般 700円/中高生 500円/小学生 300円/ 障がいのある方、その介護者 I 名 300円
施設規模	敷地面積:1,643㎡ 構造:木造一部鉄骨造 地下1階地上2階 延床面積:1,163㎡
展示構成	ゲゲゲの玄関/水木しげる 漫画ワールド/水木ギャラリー/ ねぼけ人生の間/水木しげるの仕事部屋/のんのんばあとオレ/妖怪洞窟/ 妖怪ひろば/人生絵巻の回廊/企画展示
運営体制	館長( 名)・職員( 名)・事務員(3名)・ 案内員( 0名)・着ぐるみ隊(5名)

#### (2) 立地環境

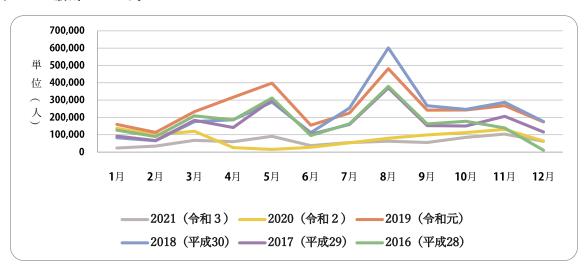
水木しげるロードは、1993(平成5)年に誕生した、境港駅から水木しげる記念館までの約800mを結ぶ商店街である。道の両側には、水木作品に登場するキャラクターや妖怪たちをモチーフとした177体の妖怪ブロンズ像やオブジェ設置されている。商店街全体で、水木しげる先生や妖怪をテーマとした取り組みを行う鳥取県内で有数の観光スポットであり、地域おこしのモデルケースとして注目される。

修学旅行等の団体客は、水木しげるロードから少し離れた駐車場でバスを降り、必ず水木 しげるロードを歩いて通り、水木しげる記念館へ向かう位置関係となっている。



(c) OpenStreetMap contributors, CC-BY-SA

水木しげるロードの入込客数は、新型コロナウィルス感染症拡大前の2019(令和元)年までは、200万~300万人を推移しており、特にゴールデンウィークと夏休みに入込客数が多い傾向にあった。2021(令和3)年には、新型コロナウィルス感染症の影響により、74万人まで激減している。



水木しげるロードの入込客数

# (3) イベント・行事

水木しげるロードおよび境港市内では、水木しげる先生や妖怪に関するイベントや季節の魅力を発信する行事が I 年を通して開催されている。

開催月	イベント名	主催	開催場所	水木しげる記念館 の関わり方
I 月	新年のご挨拶	水木しげる記念館	水木しげる記念館	主催
	カニ感謝祭	境港カニ水揚げ日	水木しげるロード	会場
		本一 PR 実行委員	(妖怪神社~水木し	
		会	げる記念館)	
3月	水木しげる生誕	鳥取県、境港市	水木しげる記念館前	会場
	祭		庭ほか	
	水木しげる記念 館開館記念日			主催(無料開放)
7月	みなと祭	みなと祭実行委員	境港市内	
		会		
	土曜夜市	水木しげるロード	水木しげるロード	会場
		振興会・水木しげ		
		るロード土曜夜市		
		実行委員会		
8月	土曜夜市	水木しげるロード	水木しげるロード	会場
		振興会、水木しげ		
		るロード土曜夜市		
		実行委員会		
	妖怪そぞろ歩き	水木しげるロード	水木しげるロード	
		振興会、水木しげ		
		るロード土曜夜市		
		実行委員会		
	ゲゲゲのゲタ飛	境港青年会議所 ゲ	日ノ出広場	
	ばし大会	タ飛ばし大会実行		
		委員会		
10月	妖怪ハロウィン	境港観光協会、水	水木しげるロード	会場
		木しげるロード振		
		興会、水木しげる		
		ロード土曜夜市実		
		行委員会、境港市		

開催月	イベント名	主催	開催場所	水木しげる記念館 の関わり方
	妖怪川柳	境港観光協会		協賛
	妖怪検定	境港商工会議所、	境港商工会議所	後援
		境港観光協会		
11月	ゲゲゲ忌	水木しげるロード	水木しげる記念館前	会場
		振興会	庭	
	ゲゲゲのゲタつ	水木しげるロード	水木しげる記念館前	会場
	み大会	振興会	庭	
12月	妖怪ブロンズ像	水木しげるロード	水木しげるロード	
	しめ縄飾り	振興会		
	ゲゲゲのクリス	境港市、境港観光	水木しげる記念館周	会場
	マス	協会、水木しげる	辺	
		ロード振興会、水		
		木しげるロード土		
		曜夜市実行委員会		
	水木しげるロー	水木しげるロード	水木しげる記念館前	会場
	ド大感謝祭	振興会	庭	
不定期	水木しげるロー	境港観光協会	水木しげるロード	
	ドフォトコンテ			
	スト			
	妖怪ナイトウォ	境港市	水木しげるロード	着ぐるみによる
	ーク			おもてなし

# I-3.水木しげるロードに関わる方々へのアンケート調査

### (I) 調査概要

再整備にあたり、地域の意向やニーズを把握することを目的として、アンケート調査を行った。令和3年 | |月 | 7日(水)~24日(水)の期間において、水木しげるロード振興会に所属する62施設に質問用紙を送付し、メールおよび FAX にて質問用紙を回収した。

#### (2) 調査項目

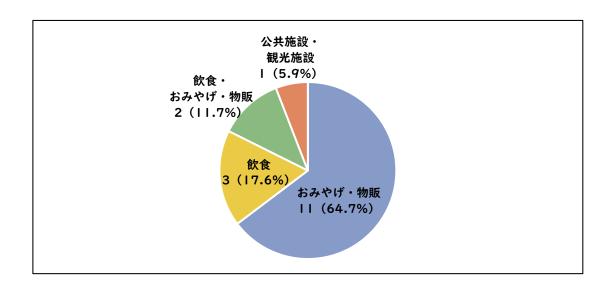
- A-I. 施設の業種
- A-2. 施設利用者の主な利用目的
- A-3. 施設のリピーターの割合
- A-4. 施設での水木しげる先生や作品に関連する取り組みについて
- B-1. 現在の水木しげる記念館の満足度
- C-I. 新たな水木しげる記念館に期待する役割
- C-2. 設備・環境に関して、今後力を入れるべきだと思う項目
- C-3. 活動・運営に関して、今後力を入れるべきだと思う項目
- C-4. 新たな水木しげる記念館との連携・協力の可能性について
- D-1. 再整備に関するご意見・ご要望

### (3) 調査結果

回答件数: 17件

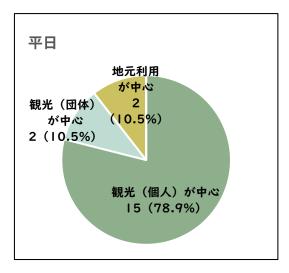
#### A-I. 施設の業種

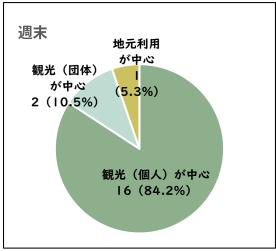
ほとんどの施設が「おみやげ・物販」または「飲食」と回答した。



#### A-2. 施設利用者の主な利用目的

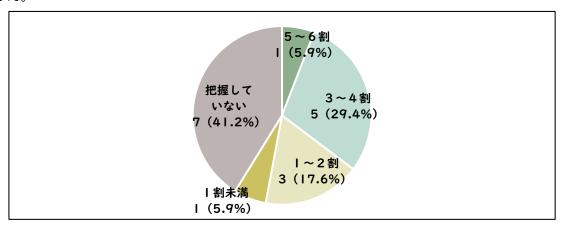
平日・週末ともに、8割近くが「観光(個人)が中心」と回答した。





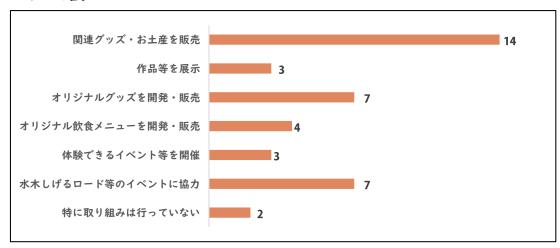
#### A-3. 施設のリピーターの割合

「3~4割」「I~2割」の回答が多い傾向だが、4割近くが「把握していない」と回答した。



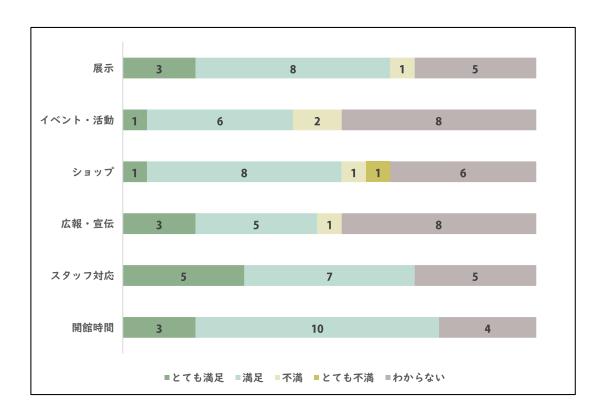
#### A-4. 施設での水木先生や作品に関連する取り組みについて(複数回答可)

「関連グッズ・お土産を販売している」を中心に、多くの施設が何らかの取り組みを行っていると回答。



#### B-1. 現在の水木しげる記念館の満足度

現在の水木しげる記念館について概ね満足度は高く、とくに「展示」「スタッフ対応」「開館時間」が高評価。一方で、長らく来館されておらず「わからない」の回答も多い傾向。

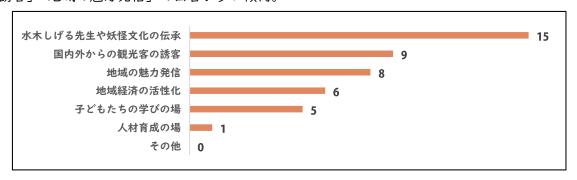


# 主な意見(抜粋)

項目	満足度	その理由
展示	とても満足	• ここでしか見られないものが多数あるから。
展示	満足	水木しげる先生の年表を見ながらの展示物の鑑賞は見ごたえが あります。水木ギャラリーコーナー以外にも展示替えがあると 嬉しいです。
展示	不満	<ul> <li>原画の展示について、一区画(一室)で良いので水木先生の書いた「本物」を見ることの出来る環境は必須と思う。水木先生がその時代にその手で描いた絵、原稿を見ることで人に伝わる事がきっとあると思う。これこそが水木しげる記念館最大の魅力に繋がる。</li> <li>企画展示の変更頻度を増やし、リピーターの増加、ファンや市民が足を運ぶ機会を増やしてほしい。</li> </ul>
イベント・活動	不満	• 水木しげるロードにお越しの方に水木しげる記念館を PR できる独自のイベントがあると、お店側もお客様にご入館をご案内できる機会になります。
ショップ	満足	• 水木しげる先生の書籍の取り扱いがあり、お客様にご案内できるので助かっています。新刊や、取り扱い書籍の紹介が HP などであると、より水木しげる記念館に入館しやすいのではと感じます。
ショップ	不満	• 記念館ならではの商品が望まれている、物販、飲食に関しては ノウハウ、アイディアが大切。
ショップ	とても不満	• グッズ販売はしないで下さい。商店街(水木しげるロード)と 競合となるため。
広報・宣伝	とても満足	• SNS 等も使って幅広く広報しておられる。
広報・宣伝	満足	・ 水木しげるロードの広告塔の柱は「水木しげる記念館」と言う のは間違いない所、一般店舗では高額な広告費を捻出しても効 果が得にくい中、雑誌、新聞等に市の経費を使用しながら水木 しげるロードの誘客を推進していただいており本当に感謝して いる。
広報・宣伝	不満	• 日々の水木しげる記念館の様子などがわかると楽しいと思いま す。
スタッフ対応	とても満足	• コロナ発生時から丁寧な対応を行われていることで記念館に対する不満や苦情を聞いたことがない。記念館を訪れた際にスタッフの皆さんが元気よく挨拶して下さるのはとても気持ち良い。
スタッフ対応	満足	• いつも水木しげるロードのイベントでご協力いただき感謝しています。入館制限中ですが、入館の際も手際よく対応していただいています。
開館時間	とても満足	• 年中無休なのがありがたい
開館時間	満足	<ul><li>年中無休で開館していただいている事に関して感謝しかない。</li><li>季節等によりナイトツアー、夜間営業が任意で出来るようになると更にうれしい。</li></ul>

#### C-1. 新たな水木しげる記念館に期待する役割(3つまで選択)

「水木しげる先生や妖怪文化の伝承」の回答が最も多く、次いで「国内外からの観光客の 誘客」「地域の魅力発信」の回答が多い傾向。

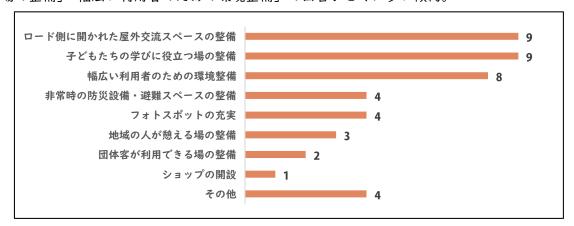


#### その他の回答・ご意見

• ここに上げられている項目は全てが関連付けされており切り離すことはできないと感じます。「水木しげる記念館」なのですから水木しげる先生や妖怪文化の伝承を基に地域(先生の育った町)の魅力を発信し国内外からの観光客の誘客を図り地域経済を活性化させる、同時に市民(子供たち合む)に上記の歴史、文化をはじめ先生の戦争体験などの学びの場とし町や人に対する意識の向上を目指し、次世代の境港を担う人材の育成に寄与する場、が役割なのではないでしょうか。

#### C-2. 設備・環境に関して、今後力を入れるべきだと思う項目(3つまで選択)

「水木しげるロード側に開かれた屋外交流スペースの整備」「子どもたちの学びに役立つ場の整備」「幅広い利用者のための環境整備」の回答がとくに多い傾向。



#### その他の回答・ご意見

- 原画の展示室(保管庫も含む)
- 体験等が出来る屋内スペース(可動式の仕切りでも良いかも)
- •講演、妖怪文化伝承事業、イベント、会議等(数十人程度か)
- スタッフ休憩室 着ぐるみの控室等、労働環境の向上
- ロード内の放送設備の集約化 災害時、緊急時の対応も考慮すると記念館に集中するのが良い
- 休憩スペースの整備(歩き疲れた方のために座れる場所が必要だと思う)
- 屋外スペースへの屋根の設置
- 妖怪 (民族) 学の伝承を中心とすること

#### C-3. 活動・運営に関して、今後力を入れるべきだと思う項目(3つまで選択)

「子どもたちが楽しめるための工夫」「定期的な展示替え」の回答が多い傾向。



#### その他の回答・ご意見

- 原画を定期的に入れ替える、その他企画展の実施は必須
- 周辺地域との連携は現在もできている、今後はコアなファンの満足度、新規ファンの取り込みが 重要。
- ボランティアやガイドの養成と同じように一般の方(ファン合む)に先生の幼少期、戦争体験、大浸画家時代などの伝承事業の実施
- 期間限定の特別展等の開催

#### C-4. 新たな水木しげる記念館との連携・協力の可能性について(3つまで選択)

「施設の特色を活かしたイベントを企画・開催したい」「入館者向けの割引サービスを実施したい」等、連携・協力の可能性について前向きな回答が多い傾向。



#### その他の回答・ご意見

- 記念館の入館者向けのサービスと同時に、弊社の会員(LINE等)への割引サービス(相互割引)
- コラボレーションにより双方の集客力、販売力を向上させる事が出来ると考えている。
- 立地的な条件で現在の記念館の建て替えに必要な土地面積を補える可能性がある。

# D-I. 再整備に関するご意見・ご要望

主な意見(抜粋)

	ご意見・ご要望
再整備への期待	• 他の地域にはない水木しげる先生に頂いた財産を、次の世代にも引継いで行く境港 の経済活動の施策の柱の一つとしてまた、境港市のシンボルとなる事を新しい水木 しげる記念館に期待します。
展示 について	<ul> <li>ハイテクなデジタルを活用して妖怪と遊べる空間、また逆に水木先生の幼少期に流行った昔遊びを体験できる空間の両方が体験できるといい。</li> <li>水木先生の声が聴ける映像は残してほしい。</li> <li>お化け屋敷のような体験型の施設があると集客につながると思います。</li> </ul>
企画展示について	<ul> <li>季節や記念日ごとに企画展示があったら良いと思います。</li> <li>記念館の来館者を飽きさせない工夫を期待します。</li> <li>リピーターが来られると「I回目に記念館へ入ったから、今回は行かない」が結構いる。3か月~半年おきにでも企画展があれば、リピーター自体が増えると思うし、入館率も上がると思う。</li> </ul>
活動・体験について	<ul> <li>水木先生をよく知る方に語り部となってもらって説明付きで記念館を観覧できると良い。</li> <li>時々、肝試しのような夜の記念館巡リツアーみたいなのをして欲しい。</li> <li>水木しげるロード関係者や市民向けの水木しげる先生の人生を学ぶ講座などを開催して地元の水木ファンを増やしたい。</li> <li>これから先、水木しげる先生や妖怪文化を継承していくためには境港市民に興味をもって、誇りに思ってもらうことが大切だと思う。そのためには観光客だけでなく、市民へ向けたイベント企画などが必要だと思う。</li> </ul>
広報・宣伝 について	• 水木しげる記念館再整備後は SNS 等で水木しげるロードや先生の情報などを知る 機会が増えると嬉しいです。
連携・協力について	• 当店では、水木作品に関連したものを使ったり販売したりはしていませんが、記念館と連携してお客さんに楽しんでいただけることがあれば協力したいと思っています。
運営 について	<ul> <li>地元の人が無料で入場できる機会を増やして欲しい。</li> <li>読書コーナーおよび庭の無料化の要望が多い。また、現在の場所だと周りが騒々しく、「落ち着いて読めない」という声も多かった。</li> </ul>
その他	• 水木しげる記念館友の会「水木しげる記念館通信」がとてもよかったので、また発行していただきたいです。友の会のクリアファイルは今後も継続してほしいです。

# Ⅰ-4. 既存施設の課題整理

上位計画等の内容等から、水木しげる記念館の強みと課題を整理した。強みとしては、「水木しげる先生」「妖怪」「地域の人々」が一体となり作り上げた、世界に誇る唯一無二のブランド価値があることが挙げられる。課題としては、貴重な作品を適切に扱える環境整備を行うことと、多様な来訪者を集め、その満足度向上を図ることが考えられる。

		内容
	水木しげる先生 そのものの魅力	<ul><li>波乱万丈の人生から見える、独自の生き方や人生哲学</li><li>妖怪に姿を与え、妖怪文化を現在に継承した妖怪研究家としての一面</li><li>妖怪を求めて、世界中を冒険した好奇心</li></ul>
	数多くの魅力的な 作品群	<ul><li>漫画家として半世紀以上に渡り第一線で活躍</li><li>幅広い世代に愛されてきた数多くの作品</li><li>人間味あふれ、親しみのあるキャラクター</li></ul>
強み	地域と積み上げた 活動の知名度	<ul> <li>水木しげるロードのランドマークとして年間 25 万人が訪れる施設</li> <li>水木しげるロードでは、「妖怪」や「ゲゲゲの鬼太郎」をテーマとした、地域住民の自発的な取り組みでさらに魅力が向上</li> <li>年間 200 万人が訪れる観光都市に地域おこしの成功例として全国的にも注目</li> </ul>
	作品世界を実際に味わえる土地	<ul> <li>水木しげる先生が幼少期を過ごし、見えないものへの興味や好奇心を育んだ境港の自然・文化</li> <li>境港市内には、水木しげる先生にゆかりのあるスポットや観光資源が多数点在(生家、正福寺、鬼太郎列車、米子鬼太郎空港、弓浜半島、境台場公園など)</li> <li>かつてのノスタルジックさを残し、水木しげる先生の作品の世界観を体感できる水木しげるロード</li> </ul>

		内容
課題	作品の展示・保存環境の整備 水木しげるロードからの誘客	●年々増加する貴重な資料を保存するスペースが不足しており、特に原画資料を適切に展示・保存できる環境が整っていない* ●常設展示を中心とした構成となっており、企画展示室の定期的な展示入替えができていない* ●先進的な技術を用いた利便性の高いコンテンツ導入の遅れ* ●水木しげるロードから水木しげる記念館への取り込みが限定的であり、2回目以降の来館につながる取り組みに課題がある。境港市内に宿泊施設が少なく、ロードや宿泊施設との連携が十分ではないため、エリアの滞在時間が短く、観光消費額が少ない* ●夜間の賑わいを創出する取り組みが不足 ●水木作品に描かれた聖地等、周辺地域への周遊を促進する機
	多様なニーズを受 け入れる環境 事業発展のための 充実した運営体制	能が不足*  ・団体利用者を受け入れるためのスペースが不足  ・外国人利用者への対応力不足(多言語での表示や音声ガイド、キャッシュレス決済等) *  ・多目的スペースや体験型コンテンツ等、何度来でも楽しめる要素が少なく、リピーターを増やしにくい*  ・施設の混雑緩和、空調システムを含む換気対策等、感染症予防に対応した大規模な環境整備ができていない*  ・専門知識を有する人材が配置できず、資料の保存管理や、展示替えに課題がある

\*:「水木しげる記念館を中核としたさかなと鬼太郎のまち境港市拠点計画」より

# I-5.主要な展示資料・所蔵品の把握

水木しげる記念館が有する主要な資料は以下の通りである。

種類	点数	内容
		天才少年画家と騒がれた往年の絵画や、水木
. 原画(複製原画含む)	203 点	作品の大きな魅力の一つである繊細な点描で
		描かれた原画など
		水木しげる先生が冒険旅行のために世界各国
2. 仮面・置物	143 点	を訪れ集めてきた精霊や妖怪のコレクション
		である仮面や置物など
2 事体	1 272 M	妖怪、怪奇、戦記、伝記、古典など、多岐に
3. 書籍	1,372 冊	わたる作品
		戦地に持ち込んだ文庫本、夫婦で作り上げた
4. 水木しげる先生の愛用品	92 点	戦艦プラモデル、結婚式の時にはめていた義
		手、墨汁の痕跡が残るシャツなど
5. キャラクターグッズ	400 ±	1960(昭和 40)年代の鬼太郎をはじめとす
5. 4+7//y=//y  	480 点	るキャラクターグッズなど
		妖怪の世界観を再現した精巧なフィギュアや
6. 既存記念館での展示物	536 点	ジオラマ、水木しげる先生が来館した際に、
		即興で壁に描いた直筆の壁画など

# (1) 原画(複製原画を含む)

境港に帰郷:終戦後、境港の実家に戻ったときに描く。「戦争というハンマーで頭を殴られたような気持ちで、脳みそが思うように働いてくれないのだ」と回想している。





霧の中のジョニー:後に「墓場の鬼太郎吸血鬼エリート」としてリライトされる。





# (2) 仮面・置物

妖怪を求めて世界中を旅するなか、各地で買い求めた仮面や置物たち。







ストーリーボード:パプア・ニューギニアの職人に製作を依頼し、自身の半生を仕立てた。



# (3) 書籍

60 年間の創作活動で生み出された作品は、妖怪、怪奇、戦記、伝記、古典など多岐の 分野にわたり、雑誌や単行本など、様々な媒体で出版されている。











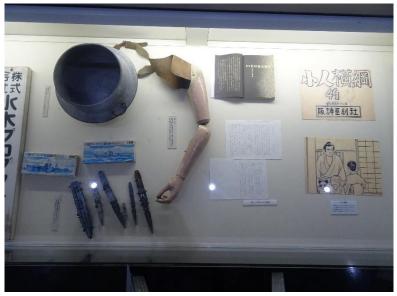


# (4) 水木しげる先生の愛用品 プラモデル。





義手:母親から厳命され、結婚式のときだけはめていたが、以後つけていない。





# (5) キャラクターグッズ

1960 (昭和 40) 年代の鬼太郎をはじめとするキャラクターグッズなど、今では手に入れることが難しいであろう貴重な品物を多数保管。











# (6) 既存記念館での展示物

「のんのんばあとオレ」「妖怪洞窟」等のコーナーで展示されている数々の妖怪模型。

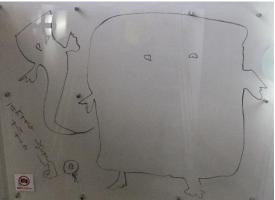




水木しげる先生が来館した際に即興で壁に描いた直筆壁画。







# 2 新施設の基本理念・基本コンセプト

## 2-I. 再整備の視点・ターゲット

#### (I) 再整備の視点

一過性の話題づくりよりも、時代にあわせて地域と施設がともに成長し、持続的な賑わい づくりで、境港市の文化として根付く再整備を目指す。

#### 1. 施設の視点

水木しげる先生の価値を継承し、次代につなぐ「ふるさと境港」だからできる記念館づくりを行う。「水木しげる先生」を伝える唯一の記念館として、貴重な原画や資料を守り、多くの人々に伝えるための環境整備など、記念館としての機能をより強化することを目指す。

#### 2. 活動の視点

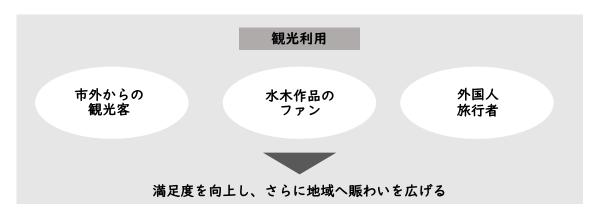
多様な来訪者のニーズを満たす活動づくりで、地域利用と観光利用をより一層促進する。 持続的な賑わいを生み、安定した集客を続けるために、地域住民と国内外の観光客を重点タ ーゲットとし、多様なニーズを想定した事業活動の計画や施設環境を整備することで、より 一層満足度を高め、何度も訪れたくなる施設を目指す。

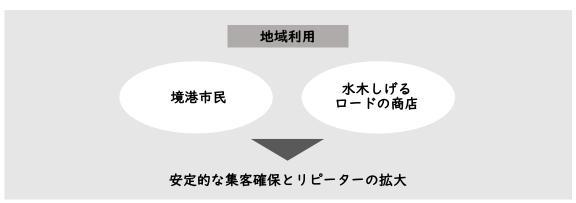
#### 3. 連携の視点

多様な主体と連携し、時代に沿った柔軟な事業拡大へとつなげる関係づくりを行う。水木 しげる記念館を拠点として、地域、市域、圏域など、ネットワークを強化することで柔軟な 事業発展を行う。多彩な連携により滞在時間延長や周遊促進を図り、市域全体に経済効果を 広げることを目指す。

### (2) 主なターゲット

現在の入館者の中心である観光利用客に向けては、満足度を向上させることで、さらに地域へ賑わいを広げるとともに、今後は地域利用の視点も重視し、安定的な集客確保とリピーターの拡大を目指す。





# 2-2. 基本理念

#### (1) 基本理念(目指す施設像)

既存施設の課題と、再整備の視点を踏まえた水木しげる記念館の基本理念を以下のよう に設定する。

時代の節目である生誕 100 周年の今、水木しげる先生が大切にしてきたことを地域と共に守り、伝え、育んできたこれまでの 100 年を継承し、これからの 100 年も「まち・ひと・妖怪」がさらに生き生きとする幸福な出会いが訪れる施設づくりを目指す。

地域が共に協働し、持続的な活動を行うことで、水木しげる先生の創作活動の原点である地で「文化」として根付くこと、市内外や国内外から多くの人々が訪れ、「観光」の側面でも賑わいを創り出すこと、その両面からの拠点づくりを目指す。

#### ■基本理念(目指す施設像)

水木しげる先生が歩んだ 100 年を継承し 次の 100 年へ想いをつなげる文化観光創造拠点



水木しげる先<mark>生が大切にしてきたことを、</mark> 地域とともに守り、伝え、育む

「まち・ひと・妖怪」がさらに 生き生きとする拠点づくり

# 2-3. 基本方針

#### (I)施設の方針

ホンモノを扱う記念館へ、施設機能の強化を目指す。

### I. 貴重な資料を「守る」保管環境の整備

資料の適切な保管環境や適正な面積規模を検討し、施設全体で「包んで守る」発想で、貴重な原画や実物資料を安全に保管する施設計画へつなげる。また、既存の先生直筆の壁画を安全に保存し移設する計画を検討する。

#### 2. 資料の価値を「魅せる」展示の整備

水木しげる先生の波乱万丈な生涯と、そこから生み出された個性的な作品の価値をさらに魅力的に伝える展示のあり方を検討する。貴重な原画や実物資料を公開するための展示環境を整備し、ホンモノ志向の記念館づくりを計画する。

#### (2)活動の方針

水木しげるロードと一体となる開かれた場と活動づくりを目指す。

#### 1. ロードとつながり、さらに活性化。多様な来訪者が集まり交流できる場

多様な活動を支え、地域の人々が何度来ても飽きずに楽しめる場の整備と、運営のあり方を計画する。とくに、コロナ後の外国人旅行者や団体利用者など、多様な来館者に対応できる施設機能の強化を検討する。

#### 2. 施設周辺を「水木しげるフィールド」へ

水木しげるロードの賑わいをさらに高め、その充実を市域に広げる活動を計画する。周辺 地域を広く「水木しげるフィールド」として位置付け、市域に残る資源とつなげて活動の場 を広げる。水木しげるロードの賑わいを周辺に拡張し、まち巡りをしながら市内への周遊を 促し、経済効果を高める。

### (3) 連携の方針

多様な主体を結び、発展し続ける連携づくりを目指す。

#### 1. 関係団体、地域の人々ともに発展していく多様な活動

現在ある課題を解決し、地域の強みをより活かすために、関係団体やロードの商店街の 人々の意見を反映し、地域の実情に沿った活動計画を検討する。関係団体や周辺地域と密に 連携することで、時代の流れに柔軟に対応し、持続的な賑わいをつくる体制構築を図る。

#### 2. 市域・圏域へ経済効果を広げる連携づくり

市内外の多様な施設や団体との連携を強化し、境港市、中海・宍道湖・大山圏域へ賑わい を広げる。連携を通じた多彩な活動で、市域・圏域への一層の経済効果の波及を目指す。

### 2-4. 基本コンセプト

## (1) 基本コンセプト

行き交う、つながる、混ざり合う

# 「境」からはじまる新しい出会い

古くから海と陸の「境」として物質・文化の流入基地として栄え、新しいものを受け入れる人々の気質も相まって、唯一無二のまちへと進化してきた境港。そして、人間界と霊界の「境」、実体験と創作の「境」、生と死の「境」、古来の妖怪文化と新たな漫画表現の「境」。 水木しげる先生は様々な「境」から独自の世界観を創造してきた。

すぐ隣り合わせにある世界が行き交い、つながり、混ざり合う。かつての日本の姿を思い 出させる懐かしさが残るこのまちで、今まで見えなかったものに出会う場所としての「境」 を施設の基本コンセプトとする。

# 3 事業活動

## 3-Ⅰ. 施設における事業活動

前述した基本コンセプトに基づき、以下の 5 つの事業展開を検討する。各事業はそれぞれが個別に機能しながら、活動内容に応じてその境界が混じり合うことで、時代やニーズに合わせて柔軟な活動が行われるように設定する。

#### ■5つの事業活動内容

【守る】 資料保管 貴重な原画やコレクションに加え、水木しげる先生の魅力を 発信するための幅広い資料を保管する。

【魅せる】 展示・公開 「水木しげる先生」を伝える唯一の記念館として、 より多角的な視点から水木しげる先生の魅力を楽しく伝え る展示を行う。

【誘う】 観光振興

境港市の文化観光創造拠点として、地域の魅力を向上し、 地域の経済活性に貢献するための取り組みを展開する。

【交わる】 創造・交流

幅広いターゲットに向けて、楽しみや学びが広がる場や 活動を充実させ、より集客力を高めるための事業を展開する。

【結ぶ】 連携・協働

市内外の様々な施設・団体・企業等との結びつきを強化し、さらなる持続発展を目指す。

# 4 管理運営の考え方

## 4-1. 基本方針

#### (1) 持続的な事業活動のための運営体制づくり

貴重な資料への適切な保管管理や展示、地域と連携した活動展開への対応など、持続的な事業活動に則した運営体制づくりを検討する。

#### (2) 地域利用と観光利用を両立する運営

何度も訪れたくなる施設とリピーター獲得を目指し、地域利用と観光利用双方を重視した運営を行う。地域利用では、市民が気軽に普段使いできるよう、親しみやすくきめ細かな運営を行う。観光利用では、より満足度の高いサービスを提供できるよう、現状の運営を拡張・発展させ、集客力をさらに高める運営を行う。

### (3) 多様な連携先とのネットワーク構築

市域、圏域をはじめとする多様な団体等とこれまで培ってきた関係を維持、発展させ展開するなど、より活発な連携を図る。将来的な運営を支える人材の発掘・育成を視野に入れた連携を図る。

#### (4) 誰もが利用しやすい開館時間、入館料等の設定

現状維持を基本として、多くの人々が利用しやすいよう、利用者の立場に立った開館時間や入館料等を検討し、利用者のニーズと合わせて柔軟な運営を検討する。

#### (5) 継続的な活動や運営ノウハウが維持できる運営方式

サービスの維持向上のため、スタッフが中長期にわたり活動でき、運営ノウハウが維持・継続されることに留意して運営方式を検討する。

#### (6) 水木しげる先生や作品への理解が深い人材による運営

水木しげる先生や作品に関する理解や知識を有する人材を雇用・育成し、展示づくりや 資料の適切な管理等、水木しげる記念館の魅力を高める施設運営を行う。

# 参考資料

水木しげる記念館再整備基本構想・基本計画検討委員会について

# 資料 | 開催概要

水木しげる記念館の再整備にかかる"基本構想"及び"基本計画"を策定するにあたり、学識経験者等で構成する「水木しげる記念館再整備基本構想・基本計画検討委員会」を設置し、それぞれの知見に基づいてご意見、ご助言をいただきながら、検討を進めていった。

#### ○各会議の開催概要

回次	開催日	検討事項等
第1回	令和3年8月31日(火)	・現状施設の課題整理
		・先進事例の報告
		・基本理念等
第2回	令和3年11月29日(月)	・事業活動
		・諸室・スペース
		・管理運営の考え方
第3回	令和4年4月4日(月)	・基本構想(案)
		・基本計画(案)
		・今後のスケジュール
第4回	令和4年5月19日(木)	・基本構想
		・基本計画

# 資料2 委員名簿

所属	役職	氏名	備考
一般社団法人 境港観光協会	事務局長	古橋 剛	副委員長
水木しげるロード振興会	会長	柏木 徹	
水木しげるロード街なみ 環境整備協定運営協議会	委員長	澤田廉路	
境港市自治連合会	副会長	山田 哲男	
境港商工会議所	事務局長	庄司 亨	
一般社団法人 境港青年会議所	直前理事長	赤石 周平	
一般社団法人 境港水産振興協会	経理担当係長	景 愛子	
境港市小学校PTA連合会	渡小学校 PTA	渡邉 冬樹	
株式会社 水木プロダクション	代表取締役	原口 智裕	
国立大学法人 島根大学	教授	細田 智久	委員長
鳥取県 交流人口拡大本部 観光交流局 まんが王国官房	官房長	岡山 佳文 森田 美穂(前任)	
鳥取県 教育委員会美術館整備局	美術振興監	尾﨑 信一郎	

(順不同)

#### 資料3 設置要綱

(設置)

第 | 条 水木しげる記念館の再整備にかかる基本構想及び基本計画(以下「計画」という。)を策定するため、水木しげる記念館再整備基本構想・基本計画検討委員会 (以下「委員会」という。)を設置する。

(所掌事務)

- 第2条 委員会は、次の事項について、市長の求めに応じて意見を述べるとともに必要な助言等を行う。
  - (1) 計画に関すること。
  - (2) その他、市長が必要と認める事項

(組織)

- 第3条 委員会は、12人以内の委員で組織する。
- 2 委員は、次の各号に掲げる者のうちから市長が委嘱する。
- (1) 別表に掲げる団体の代表者又は当該団体から推薦があった者
- (2) 学識経験を有する者
- (3)前2号に掲げる者のほか、市長が適当と認める者
- 3 前項の規定により委嘱された委員に欠員が生じた場合は、その後任の委員を委嘱する。

(任期)

第4条 委員の任期は、委嘱の日から令和4年5月31日までとする。

(委員長及び副委員長)

- 第5条 委員会に委員長及び副委員長を各 | 人置く。
- 2 委員長は、委員の中から市長の指名により定め、副委員長は、委員の中から委員 長の指名によりこれを定める。
- 3 委員長は、委員会を代表し、会務を総理する。
- 4 副委員長は、委員長を補佐し、委員長に事故あるときは、その職務を代理する。 (会議)
- 第6条 委員会の会議(以下「会議」という。)は、委員長が招集し、委員長が議長を 務める。ただし、最初の会議は、市長が招集する。
- 2 会議は、委員の過半数が出席(委任状による代理出席を含む。)しなければ開く ことができない。
- 3 会議の議事は、出席委員の過半数で決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。

(庶務)

第7条 委員会の庶務は、産業部観光振興課において処理する。

(その他)

第8条 この要綱に定めるもののほか、必要な事項は、委員長が委員会に諮って定める。

附 則

(施行期日)

Ⅰ この要綱は、令和3年7月1日から施行する。

(要綱の失効)

2 この要綱は、令和4年3月31日限り、その効力を失う。

附 則

(施行期日)

Ⅰ この要綱は、令和4年3月Ⅰ日から施行する。

(要綱の失効)

2 この要綱は、令和4年5月31日限り、その効力を失う。

#### 別表(第3条関係)

一般社団法人 境港観光協会

水木しげるロード振興会

水木しげるロード街なみ環境整備協定運営協議会

境港市自治連合会

境港商工会議所

一般社団法人 境港青年会議所

一般社団法人 境港水産振興協会

境港市小学校PTA連合会

# 水木しげる記念館再整備 基本構想・基本計画 基本構想

令和4年5月 発行

〔発 行〕 境港市産業部 観光振興課 鳥取県境港市上道町 3000 TEL 0859-47-1068 FAX 0859-44-7957